

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 8 日(2024.8.8)

【公開番号】特開 2024-51153(P2024-51153A)
【公開日】令和 6 年 4 月 10 日(2024.4.10)
【年通号数】公開公報(特許)2024-066
【出願番号】特願 2024-30682(P2024-30682)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 0 7 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 31 日(2024.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、

前記遊技盤が取り付けられる本体枠と、

前記遊技領域に向けて遊技球を発射する打球発射装置と、を備える遊技機であって、

前記遊技機は、前記遊技領域から排出された遊技球を回収し、遊技球を機外に排出することなく循環させるものであり、前記打球発射装置で発射可能な位置まで遊技球を揚送する揚送装置を備え、

前記揚送装置に隣接した位置には球磨き部材が配置され、

30

前記球磨き部材は前記揚送装置において揚送される遊技球と接触することにより球磨きが行われ、

前記球磨き部材は着脱可能であり、

前記球磨き部材を装着していない状態であっても遊技を進行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 0 1】

本発明は、所定数量の遊技球を閉鎖的に循環させて遊技を行わせる封入球式の遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来技術の封入球式の遊技機として特許文献 1 のような遊技機がある。

50

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0004】

【特許文献 1】特開 2004 - 298511 号公報

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかし、特許文献 1 に記載の遊技機には改良の余地がある。

【手続補正 7】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明の目的は、従来の遊技機を改良した遊技機を提供することにある。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

30

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本願発明は、

「遊技球が流下する遊技領域を備えた遊技盤と、

前記遊技盤が取り付けられる本体枠と、

40

前記遊技領域に向けて遊技球を発射する打球発射装置と、を備える遊技機であって、

前記遊技機は、前記遊技領域から排出された遊技球を回収し、遊技球を機外に排出することなく循環させるものであり、前記打球発射装置で発射可能な位置まで遊技球を揚送する揚送装置を備え、

前記揚送装置に隣接した位置には球磨き部材が配置され、

前記球磨き部材は前記揚送装置において揚送される遊技球と接触することにより球磨きが行われ、

前記球磨き部材は着脱可能であり、

前記球磨き部材を装着していない状態であっても遊技を進行可能である

ことを特徴とする遊技機。」である。

50

また、本願発明とは異なる別の発明として以下の手段を参考的に開示する。

次の手段により課題を解決する。

(手段１)

遊技領域が区画形成された遊技盤と、
該遊技盤が嵌め込まれて収容される本体枠とを備えた遊技機であって、
該遊技機の上部に配置され、前記遊技領域に遊技球を発射する上部発射装置と、
該上部発射装置によって発射された遊技球を回収し、再び上部発射装置へ循環させる循環経路と、
前記上部発射装置に前記遊技機の下部から遊技球を揚送する球揚送装置と、
前記揚送装置は電氣的駆動源によって回転駆動する螺旋突条を有したスクリューと、
スクリューによって遊技球が揚送される際、直線的に揚送されるようガイドする揚送ガイドレールと、
前記スクリューと前記揚送ガイドレールの周囲に備えられる不動の壁面と、を有し、
前記揚送ガイドレールと前記壁面との間に、前記揚送ガイドレールの変形を規制する支持部材と、を備えたことを特徴とする。

10

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【０００９】

本発明の封入球式の遊技機によれば、従来の遊技機を改良し、遊技に供される遊技球を磨きながらも稼働時間の長い遊技機を提供することが出来る。

30

40

50